**がん遺伝子パネル検査　病理検体の提出について**

がん遺伝子パネル検査を提出する際には、下記事項を確認いただき病理検体を提出してください。

**《がん遺伝子パネル検査に提出可能な検体の種類》**

　　・**ホルマリン固定パラフィン包埋検体**

□　固定操作は、10％中性緩衝ホルマリン溶液で行ってください。

□　固定時間は、6～72時間が推奨されます。

　　　□　脱灰操作は、EDTA中性脱灰液のみ可能です。（酸脱灰操作が行われた検体は検査不可です。）

**《がん遺伝子パネル検査の提出方法》**

ご施設の病理検査診療体制により提出する病理検体が異なります。

**１．病理検査を自施設で実施しているご施設**

ご施設で標本作製後、当院へ提出してください。

未染スライドは、**腫瘍含有率の最も高い検体**で作製してください。

【提出する病理検体】

・**がん遺伝子パネル用未染スライド5μm・・・25枚**（加熱による伸展・乾燥は行わず、常温で管理）

**・HE染色用未染スライド　　　　 3μm・・・2枚** （加熱による伸展・乾燥は可能）

★スライド作製時の注意事項★

□　未染スライドは、正荷電スライド（剥離防止コートスライド）で作製してください。

□　1枚のスライドには１つの切片のみとし、全て同一のブロックから薄切してください。

　　　□　全てのスライドには同一の検体番号を記載してください。（英数字20字以内）

□　検体番号に枝番号は記載しないでください。

　　　□　患者個人を特定できる情報（氏名など）は記載

しないでください。

**２．病理検査を外部委託しているご施設**

病理検査の委託先から病理検体を全て取り寄せ、適宜梱包の上、当院へ提出してください。

【提出する病理検体】

　**・ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック**

**・病理診断に使用したガラススライド標本**

不明な点がありましたら、下記連絡先にお問い合わせください。

＜連絡先＞

沖縄県立中部病院　検査科　病理検査室　TEL：098-973-4111　内線：3254

E-mail：och\_byouri@hosp.pref.okinawa.jp